

令和2年度 豊橋市市民協働推進補助金 事業報告



補助金の種類	団体	事業	頁
つつじ	ダンスフレンド とよはし	ダンスフレンド とよはし	1
つつじ	ちびっこ広場に桜を育てる会	桜植樹・育成維持管理	2
つつじ	駐車場にさざんかの花を咲かせる会	さざんかの花植樹・育成維持管理	3
くすのき	豊橋こども食堂*なかよし	豊橋こども食堂*なかよし	4
くすのき	小松原みどりの会	花壇の整備	5
くすのき	おせっ会	農園（あけみ園）を利用した地域交流活動及び三世代教室	6
わかば	三河材の普及を目的とした木育プロジェクトチーム	三河材の普及を目的とした木育プロジェクト	7
わかば	Coder Dojo 豊橋	Hour of Code in 豊橋 & CoderDojo 豊橋の展開	8



- ・つつじ補助金 設立後5年未満 補助率 10/10 上限 5万円
- ・くすのき補助金 設立後2年以上 1回目 補助率 2/3 2回目 補助率 1/2
3回目 補助率 1/3 3回とも上限 30万円
- ・わかば補助金 若者の活動団体 補助率 10/10 上限 10万円

令和2年度 市民協働推進補助事業 事業報告シート

事業名等	ダンスフレンドとよはし
団体名	ダンスフレンドとよはし

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容)</p> <p>※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 介護施設等高齢者の慰問活動を豊橋市内で12回/年実施する計画で進めてきた。 慰問活動の内容は、歌とダンス・舞踊、高齢者と一緒に歌を合唱し、健康維持の一助としてお役に立てていただくよう努める予定であった。 練習は、南部地区市民館をお借りし、毎週水曜日にメンバー8人が集まり練習を重ねいつでも慰問活動が出来るよう準備してきた。 <p>総事業費： 66,374 円 (内補助金：50,000円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に入り、新型コロナ感染拡大で、予定していた介護施設の窓口担当者と交渉を重ねてきたが、どの会場も、慰問活動は、受け入れ困難との回答が続いてきた。 いつ、慰問活動が、実現できるかもしれないと望みをすてず、練習は毎週欠かさず行ってきた。 令和3年1月に入り、新型コロナ感染拡大は、第3派の波がきて、非常事態宣言とともに、県より不要・不急の外出要請がだされ、今年度の慰問活動は、断念した。
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<ul style="list-style-type: none"> コロナワクチンの接種がすすむ今年、8月ごろをメドに、慰問活動が実現できると考えている。 それまで、練習を重ねて行きたい。 8月以降は、精力的に、慰問活動を実施し、高齢者の方々が、満面の笑顔が見られ、共に歌い健康維持できるようあきらめず頑張りたい。

令和2年度 市民協働推進補助事業 事業報告シート

事業名等	桜植樹・育成維持管理
団体名	ちびっこ広場に桜を育てる会

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容)</p> <p>※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>総勢 12 名により 3 本の植樹を 11 月 15 日実施</p> <p>後日、6 名によりベンチ 2 台設置</p> <p>その後、適宜水やり実施している</p> <p>総事業費： 48,576 円 (内補助金： 48,000 円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>桜植樹作業をみんなでやったことにより、親睦がより深まった。</p> <p>早くも花が咲き、地域住民(町内の人)や、近隣施設の障害者の方々もそれぞれ、花見を楽しんでもらえた。</p> <p>コロナ禍のため桜を楽しむ催事は行いませんでした。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>維持管理は予定通り町内慣例作業となり草刈り時は町内総出で行い町内で育てていきます。</p> <p>花見の時期には桜の下で催事開催を計画してまいります。</p>

令和2年度 市民協働推進補助事業 事業報告シート

事業名等	さざんかの花植樹・育成維持管理
団体名	駐車場にさざんかの花を咲かせる会

項目	内容
事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。	会員と一部住民 13 名にて 2 回に分けて植樹を行いました。 10月18日、11月3日実施 (苗木が1度に揃わず分植となりました。) 公民館へ集まったの茶話会等は行わず、植樹作業の終了時に現場で駄菓子とお茶で雑談を行いました。 以後適宜水やりを実施しています。 総事業費： 50,330 円 (内補助金： 50,000 円)
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	協働作業での植樹で一部住民とも、和気あいあいの雰囲気で行うことが出来ました。 駐車場の一部だけの植樹となり、自ずと次回に残り個所に植樹が、必要との声が上がって団結が感じ取れました。
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	残りの部分に 150 本の植樹をして住民に親しみやすい、駐車場にする為に、くすのき補助金を申請する事といたしました 尚、次回は自治会を巻き込んでの植樹とし費用の一部負担も御願ひしております。 今後は自治会と合同作業として継続をしていきます。

令和2年度 市民協働推進補助事業 事業報告シート

事業名等	豊橋こども食堂*なかよし
団体名	豊橋こども食堂*なかよし

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容)</p> <p>※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>2020年4月から2021年3月までに10回の子ども食堂を開き、延べ372人の子供、82人の大人、31人の高齢者の方にカレーライスを提供致しました。</p> <p>尚、2020年度はコロナウイルス流行の為、こども食堂は2回お休み致しました。</p> <p>参加者への限定は全くないので、本当に食事に困っている方にも気楽に参加してもらえたのではないかと考えております。</p> <p>又、この食堂は毎月1回色々な年齢の子ども達が共に食事をする機会となり、家庭、学校、塾等では実現出来ないリラックス出来る居場所の提供も出来ているのでは無いかと自負しております。</p> <p>総事業費： 108,000円 (内補助金：32,000円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. こども食堂が毎月1回開かれる事は近所の子ども達にも知れ渡り、毎回楽しみにしてくれる様になりました。 2. 親世代、お年寄りの方も、定期的に参加して下さるようになり世代間の交流かはかれそうな環境が出来て来たように思います。
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>この事業を継続するには、資金援助が必要です。行政当局には引き続き資金援助をお願いしたい。</p> <p>今後とも、対象者を限らず、地域の人々の交流の場にもなる様に行きたいと思っております。</p> <p>又、子ども達への工作指導、食事提供のみでなく、読書会や学習支援等にも対応したいと思っております。</p>

令和2年度 市民協働推進補助事業 事業報告シート

事業名等	花壇の整備
団体名	小松原みどりの会

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容)</p> <p>※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>植栽帯の整備は、不法ゴミ削減・通学路の美化を目的とし、事業2年目を迎え、町民にも周知されるようになった。</p> <p>枯れたツツジの撤去には、重機の使用が必然で、町内には重機オペレーターもいた事から今回の広範囲に亘る植栽帯の整備の実現に繋がった。</p> <p>国道42号線沿い(小松原町)の約150平方メートルの植栽帯の枯れたツツジも撤去、土壌改良・ツツジの植栽を行った。</p> <p>植栽後も、会員、町民による植栽帯の管理を行っている。</p> <p>(植栽)</p> <p>第1回目：令和2年 5月31日13時から17時 10人 第2回目：令和2年10月18日13時から17時 12人</p> <p>総事業費： 450,000 円 (内補助金： 300,000 円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>最初は会員が、草取りや除草剤の散布をしていたが、徐々に会員以外の方々も雑草を取ってくれている姿を見かけるようになり、5月31日・10月18日のツツジ植栽の際は、10人以上の町民にご参加いただけるようになった。</p> <p>不法ゴミも減っており、昨年度植えたツツジも順調に育っているのので、花が咲く時期には通る人にも楽しんでもらっている。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>徐々に花の種類も増やし、通行人の癒しのスペースとなりえるよう取り組んでいく予定。</p>

令和2年度 市民協働推進補助事業 事業報告シート

事業名等	農園（あけみ園）を利用した地域交流及三世代教室
団体名	おせっ会

項目	内容
事業の概要 （取組みの内容） ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。	事業の概要 2.5.9（土）10：00 草取り 15人 2.5.30（土）9：00 花苗の定植 20人 2.6.6.（土）9：00 草取り 15人 11：00 お楽しみ会 15人 2.7.4（土）13：30 パソコン教室参加 1人 2.8.5（土）13：30 パソコン教室参加 1人 2.8.16（日）8：00 草取り 10人 2.9.20（日）7：00 草取り 15人 11：00 お楽しみ会 15人 2.10.3（日）9：00 花苗の定植 20人 2.10.17（土）14：00 「公務員船頭」 5人 牛川の渡し、さし絵展 トークショー 2.10.24（土）9：00 草取り 15人 2.11.14（土）13：00 芋ほり 20人 2.11.20.（金）13：00 地域ケア会議 10人 2.11.22（日）10：00 芋煮会 15人 2.12.12（土）13：00 花苗の定植 15人 2.12.19（土）10：00 焼き芋会 30人 3.3.18（金）13：30 生活運動機能測定会 10人 3.3.28（日）9：00 草取り 10人 総事業費：706,000円（内補助金：300,000円）
事業の成果等 （事業を実施した結果、どう変わったかなど）	コロナ禍のため、三世代教室は6月に1回のみ開催となってしまった。1月、子どもさん2名から「論語塾を開いてほしい」という年賀状が届いた。改めて、この会の存在感を実感することができた。今年度、役員お楽しみ会を3回開いた。やはり、このような会は、活動の潤滑油になることが分かった。 第2回焼き芋会は参加者に感動を与えることができた。 年3回の花苗定植により、「あけみ園」が輝くようになった。
今後の見通し （事業実施後の課題、今後の取組みなど）	草取り、お楽しみ会、花苗の定植により、「あけみ園」が輝く場所となった。コロナワクチンが行き渡ったら、「三世代教室」の充実を計りたい。

令和2年度 市民協働推進補助事業 事業報告シート

事業名等	三河材の普及を目的とした木育プロジェクト
団体名	三河材の普及を目的とした木育プロジェクトチーム

項目	内容
事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。	<p>A. 【三河材おもちゃの製作及び配布】(以下、Aと記す) 実施日：1月8日～12日 動員人数：隔日25～40名程度 昨年度に引き続き、三河材を用いたおもちゃの製作及び配布を通じて、 ①地域材(国産材)が抱えている問題をより多くの人の知ってもらうこと、 ②デジタルファブリケーションを用いた新たなものづくり技術を普及、③実際に木材に触れ、幅広い世代において木との原体験を作り上げる「木育」を行い、地域材の利用促進をはかることを目的として事業を行いました。</p> <p>B. 【ベビーボックスの製作】(以下、Bと記す) 豊橋市保健所ホイップとの連携事業 コロナ禍の影響を受け、当初予定していた木育ワークショップの開催が困難となったため、急遽事業内容を変更し、豊橋市保健所こども保健課と連携し、妊婦さんに配布する三河材を用いたベビーボックスを試作。試作品を保健所に設置し来所する妊婦さんへ使用してもらいその意見を分析、次年度以降配布用として製作する際の参考とした。</p> <p>総事業費： 103,131円 (内補助金：100,000円)</p>
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	<p>A. 昨年度に比べ、より多くの人々に本プロジェクトを認知してもらうことを図り、配布会場及び配布時期を道の駅とよはし・年始の時期と設定したことや、SNS等の宣伝効果も加え、昨年度より多い動員を行うことができました。配布期間中に実施したプロジェクトの背景や目的にまつわるアンケートでは92名の方々に回答いただき、特に、プロジェクトのどの部分に関心を持ったかというアンケートの回答では「木育」と回答した人が70%を占め、配布だけにとどまらず、本プロジェクトの重要な目的の一つを多くの市民の方々に伝えられたと考えます。</p> <p>B. ご提示いただいた予算を遵守しつつ、実際に保健所に訪れた方々からのフィードバックをいただきながら、デザインの改善を繰り返し、製作にあたりました。ベビーボックスの配布を実施することになった際には必ず参考になるかと思えます。</p>
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	<p>A. 配布期間中、お越しいただいた市民の方々とお話をした際に、「ぜひ来年度も続けて欲しい」という意見をいただいたことや、製作時間や予算の都合上、配布することができなかった方々もいたことから、今後も活動を継続することが地域ぐるみでの「木育」の定着や、地域材の利用促進を実現するためには重要であると考えます。今後はより生産的な製作方法を模索することや、プロジェクトの認知に尽力し、より多くの方々が認知し、より多くの人々が手にしている地域材おもちゃを目指し活動を行っていくと考えます。</p> <p>B. 新年度予算の都合上、来年度から配布は叶いませんでしたが、今回の活動で得られた知見を活かし、配布することが決定した際には、再度プロジェクトメンバーと保健所との官学が連携を行い、地域材の利用促進へとつながるプロジェクトを目指します。</p>

令和2年度 市民協働推進補助事業 事業報告シート

事業名等	Hour of Code in 豊橋 & CoderDojo 豊橋の展開
団体名	CoderDojo 豊橋

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容)</p> <p>※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>子ども向けプログラミング教材を用いた初心者向けのプログラミング体験イベント「Hour of Code 夏休み in 豊橋」、「Scratch Day & Hour of Code in Sozo Univ」については、コロナウイルス感染症の状況を鑑みて中止としました。</p> <p>興味を持った子どもが定期的に学べる場として、プログラミング道場「CoderDojo 豊橋」(火曜・木曜 16:30~18:00) 実施しました。</p> <p>■Hour of Code 夏休み in 豊橋、Scratch Day & Hour of Code in Sozo Univ については中止、「青少年のための科学の祭典」(東三河大会、1/24、ココニコ)への出展はオンラインのみのべ64名視聴</p> <p>■CoderDojo 豊橋:5月~7月、11月~3月までの毎週火・木曜日に46回(オンライン6回、オフライン40回)実施し、延べ207名が参加</p> <p>■その他活動:中野小コンピュータクラブについては、20人程の生徒を対象にHour of CodeのMinecraftチュートリアル、micro:bitやiPad連携ロボット等を実施し、計6回、参加者のべ132名が参加。12ブロック現職研修(8/28、5校代表者教員15名)等を実施本事業を通じて、延べ418名が参加しました。</p> <p>総事業費: 134,979円 (内補助金: 100,000円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>「Scratch Day & Hour of Code」等は、春から秋のイベントが中止としたため、オンラインイベントの64名の視聴参加のみとなりました。また、CoderDojo 豊橋については、コロナウイルス感染症対応で4ヶ月間を中止、残り8ヶ月については、オンラインとオフライン開催で46回開催、延べ参加者数207名となりました。</p> <p>その他の活動を含めても、総参加見積1500人程度に対し、大幅に下回る418名の参加となりました。参加者については少なくなったものの、興味を持った子どもたちにコンピュータサイエンス教育を体験して貰え、教員講習会も行ったことで、児童・生徒だけでなく、教員のコンピュータサイエンス教育に関する知識と理解を高めることができたと考えています。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>子ども向けプログラミング教材を用いた初心者向けのプログラミング体験イベント「Scratch Day & Hour of Code」、および、興味を持った子どもが定期的に学べる場としてのプログラミング道場「CoderDojo 豊橋」の実施については、実施体制や学生メンターの確保等には問題ないと考えています。コロナウイルス感染症対応のためのオンライン開催には苦慮しており、今後も改善の必要性を感じています。電子コンテンツや電子教材については、今後も更新し充実できるよう、継続的な準備のための活動が必要だと感じています。また、教える側であるメンターの人材拡充のため、学生だけでなく、学校教員や社会人へ広げるような講習会を企画していきたいと考えています。</p>

トヨッキー基金



©豊橋市トヨッキー



市民協働推進補助金は、トヨッキー基金（市民協働推進基金）から交付されています。



豊橋市 市民協創部 市民協働推進課
〒440-8501
豊橋市今橋町1番地(西館4階)
TEL: 0532-51-2483
FAX: 0532-56-5128
MAIL: shiminkyodo@city.toyohashi.lg.jp